

— 裏方さんが主役 —

—舞台芸術を裏から支える「裏方さん」を対象とした—

第30回「ニッセイ・バックステージ賞」

および第30回記念特別表彰の
表彰候補者の公募について

2024年 3 月

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団
〔日生劇場〕

本件に関するお問合せ

公益財団法人ニッセイ文化振興財団

担当：専務理事・事務局長 今村 康明（イマムラ ヤスアキ）
事務局長 可畑 尚人（カバタ ナオト）

TEL：(03)3503-3115 FAX：(03)3581-3493

<https://www.nissaytheatre.or.jp/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号

〈第30回「ニッセイ・バックステージ賞」および特別表彰の候補者公募について〉

- ニッセイ文化振興財団〔理事長 鬼頭誠司〕は、舞台芸術を裏から支え優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝「裏方さん」を表彰し、永年の功績を讃えるとともに、後継者の育成を目指し「ニッセイ・バックステージ賞」を1995年に創設しました。
この度、第30回「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者を公募します。
- 本賞では、舞台芸術を支える「裏方さん」に光を当て、永年の功績を讃えるとともに、後継者育成の一助になればと、これまで66名の素晴らしい方々を表彰いたしました。
- 表彰対象者は、「舞台を支える『裏方さん』」で、それぞれの分野で優れた技術を保持し、舞台づくりに貢献しておられる方々です。また、後継者の育成に尽力しておられる方、さらには全国各地で舞台芸術を地道な活動で支えておられる方にも注目しています。
- ご推薦にあたっては、表彰要綱（P2）をご高覧いただき、「候補者推薦書」を当財団宛お送りください。
- また、第30回という節目の年を迎え、これを記念して、今年度特別に将来のバックステージ賞の候補となる次世代の若手のための表彰を設けます。表彰要綱（P4）をご高覧いただき、専用の「候補者推薦書」および添付資料を、当財団宛お送りください。
- いずれも「候補者推薦書ご記入に際してのご留意事項（P5）」を合わせてご確認ください。
(2024年5月7日(火) 必着)

〈ニッセイ文化振興財団の主な活動〉

- 当財団の事業目的は、東京日比谷の日生劇場を中心として『すぐれた舞台芸術を提供するとともにその向上をはかり、わが国の芸術文化の振興に寄与する』ことにあります。財団設立以来、「届ける（優れた舞台芸術を制作、上演する）」「育む（児童・青少年の豊かな情操を育てる）」「支える（舞台芸術を支える人材を育成する）」という3つの基本理念のもと、主に以下の活動を行っています。

1. 「ニッセイ名作シリーズ」

優れた舞台芸術に触れることを通じて子どもたちの情操が豊かに育つことを願い、小学生から高校生までをミュージカル・音楽劇・人形劇・クラシックコンサート等の幅広い芸術ジャンルの公演へ招待する「ニッセイ名作シリーズ」を2014年にスタートしました。

この取り組みは、日生劇場開場翌年から50年間にわたって小学生をミュージカル公演に無料招待した「ニッセイ名作劇場」を発展させたもので、日生劇場はもとより全国で展開しています。「ニッセイ名作劇場」からの累計招待数は2022年11月に800万人を超えました。

2. 「日生劇場ファミリーフェスティバル」

ご家族で本格的な舞台芸術に触れていただくことを願い、バラエティに富んだ質の高い舞台芸術を低廉な料金で紹介しています。1993年にスタートし、毎年約2万人のお客様にご来場いただいております。

3. 「NISSAY OPERA」

1963年の日生劇場柿落とし公演ベルリン・ドイツ・オペラの「フィデリオ」上演以来、国内外で活躍している実力派のオペラ歌手やスタッフによる最高水準のオペラ公演を目指し上演しています。

4. 「日生劇場舞台フォーラム」

舞台技術者の育成、支援を目的に1993年にスタートしました。日生劇場の舞台と実際に上演されている舞台装置・照明・音響・衣裳などを使い、第一線で活躍する演出家や舞台技術者による若手舞台技術者向けの教育の場として大きな反響をいただいております。

5. 「日生劇場」の運営管理

当財団主催公演の上演及び協賛・協力事業に日生劇場を使用する他、日本生命保険相互会社の委託を受け、「日生劇場」の運営管理を行っています。

「ニッセイ・バックステージ賞」表彰要綱

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

表彰対象	舞台芸術を裏から支え、舞台づくりに貢献し、優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝「裏方さん」（原則として、現役でご活躍中の個人） ※当財団役職員ならびに評議員は表彰対象から除きます
分野（例）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大道具、小道具、照明、音響、特殊効果、衣裳、着付、靴、床山、メイク等の業務従事者及びそれらの製作部門のすべて ※プランナー、デザイナーは除きます ■ 舞台機構（迫り、吊り物等）の操作技術者 ■ プロンプター、コレペティトウア、オーケストラマネージャー、調律師、ライブラリアン ■ バレエ・ミストレス ■ 狂言方、附打 ■ 劇場やホールの運営、舞台及び楽屋の管理、案内、窓口業務従事者 ■ 台本翻訳、通訳 ■ プロデューサー、舞台監督、演出助手
選考の視点（例）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 永年、裏方として優れた舞台づくりに貢献している人材 ■ 舞台芸術を支える各分野で革新的な技術を開発し、または将来を嘱望するに足る実績を示した人材 ■ 舞台技術の後継者の育成に尽力している人材 ■ 全国各地で地道な活動で舞台芸術を支えている人材
表彰者数	毎年 2名以内
表彰内容	賞状及び記念品 賞金：200万円 年金：年額50万円（10年確定年金）
選考方法	全国の舞台芸術有識者の方々からご推薦（自薦を除く）のほか、一般から公募する ※一般公募は日生劇場HPより推薦書をダウンロードのうえ、必要事項を記入して、担当まで郵送にて提出ください 選考委員会で審査の上決定します
選考委員 (五十音順・敬称略)	<p>織田 紘二 (元国立劇場理事)</p> <p>勝柴 次朗 (公益社団法人日本照明家協会 名誉顧問)</p> <p>岸田 生郎 (昭和音楽大学 客員教授)</p> <p>佐藤 信 (劇作・演出家)</p> <p>土屋 茂昭 (舞台美術家／大阪芸術大学 客員教授)</p> <p>永井 多恵子 (公益財団法人せたがや文化財団 顧問)</p> <p>野村 萬 (公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長)</p> <p>鬼頭 誠司 (公益財団法人ニッセイ文化振興財団 理事長) (2024年3月現在)</p>
募集締切	2024年5月7日（火）必着
発表	2024年10月中旬（予定）
贈賞式	2024年11月27日（水）（予定）
お問合せ先	<p>公益財団法人ニッセイ文化振興財団</p> <p>担当：専務理事・事務局長 今村 康明（イマムラ ヤスアキ） 事務局長 可畑 尚人（カバタ ナオト）</p> <p>TEL：(03)3503-3115 FAX：(03)3581-3493</p> <p>https://www.nissaytheatre.or.jp/</p> <p>〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号</p>

「ニッセイ・バックステージ賞」これまでの受賞者の方々

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

受賞年度	ジャンル	氏名
第1回 (1995年)	歌舞伎「床山」	那須 武雄
	新劇衣裳製作	河盛 成夫
	文楽人形「かつら、床山」	名越 昭司
第2回 (1996年)	舞台監督	田中 好道
	オペラプロデューサー	河内 正三
	歌舞伎衣裳縫製	菅谷 マチ子
第3回 (1997年)	日本物舞台衣裳製作	中川 菊枝
	伝統芸能小道具製作	杉山 好二
	チェンバロ製作・調律	百瀬 正二
第4回 (1998年)	ホール案内業務	大村 いね
	琉球伝統芸能の琉髪結髪	小波 則夫
	大道具製作(背景)	工藤 和夫
第5回 (1999年)	演劇プロデューサー	倉林 誠一郎
	舞台照明	阿部 吉之助
	文楽小道具	和田 時男
第6回 (2000年)	舞台音響効果	作本 秀信
	小道具の製作	松家 公
	演劇道具の輸送	榎野 明
第7回 (2001年)	演劇鑑賞団体の運営	岡田 文江
	ステージ・マネージャー	宮崎 隆男
	演劇の通訳	垣ヶ原 美枝
第8回 (2002年)	児童合唱団の運営	皆川 和子
	地芝居振付	松本 団升
	バレエ衣裳製作	大井 昌子
第9回 (2003年)	劇人形デザイン・製作	保坂 純子
	大道具・背景画	山本 富二夫
第10回 (2004年)	劇場運営・演劇プロデューサー	山根 淑子
	小道具等特殊美術製作	藤野 級井
第11回 (2005年)	歌舞伎背景画	後藤 芳世
	舞台監督	田原 進
第12回 (2006年)	劇場運営	伊藤 英子
	調ベ司	山下 雄治
第13回 (2007年)	舞台美術	板坂 晋治
	オペラ合唱	新小田 大

受賞年度	ジャンル	氏名
第14回 (2008年)	大道具大工	原田 國利
	衣裳・小道具製作	小寺 洋子
第15回 (2009年)	人形劇プロデューサー	宇野 小四郎
	歌舞伎「床山」	三浦 菊雄
第16回 (2010年)	演劇鑑賞団体の運営	川述 文男
	オペラ合唱指揮	及川 貢
第17回 (2011年)	ライブラリアン	龍前 範子
	舞台監督	川口 浩三
第18回 (2012年)	舞扇の製作	福井 四郎
	ピアノ調律	山田 宏
第19回 (2013年)	舞台監督	金一 浩司
	歌舞伎「ツケ打ち」	芝田 正利
第20回 (2014年)	かつら製作	石川 卓男
	音響効果オペレーション	富田 健治
第21回 (2015年)	舞台美術 背景画家	新城 榮徳
	歌舞伎「狂言作者」	竹柴 正二
第22回 (2016年)	箏の製作・調整・舞台設営	山中 正夫
	オペラ衣裳製作	下斗米 雪子
第23回 (2017年)	舞台音響効果	田村 恵
	パイプオルガンの設置・調律・保守	望月 廣幸
第24回 (2018年)	大道具	松崎 政男
	文楽人形衣裳縫製	牧野 圭子
第25回 (2019年)	大道具製作	佐藤 哲夫
	劇場経営・演劇プロデュース	福本 年雄
第26回 (2020年)	オペラ制作・字幕監修	杉 理一
	特殊小道具製作	田中 義彦
第27回 (2021年)	音響クリエイター・オペレーター	高橋 嘉市
	文楽背景画製作	岡本 義秀
第28回 (2022年)	劇場運営・演劇プロデューサー	二村 利之
	コレペティトゥア	大藤 玲子
第29回 (2023年)	舞台衣裳製作	林 なつ子
	バレエピアニスト	米田 ゆり

(年齢順・敬称略)

将来のバックステージ賞候補となる次世代のための 第30回記念特別表彰「奨励賞」表彰要綱

公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

本特別表彰について	<p>舞台芸術を裏から支え優れた業績を挙げる舞台技術者に光を当てることを以って、我が国の芸術文化の振興に寄与するという目的のため、「ニッセイ・バックステージ賞」をこれまで運営してきました</p> <p>今年度は、第30回という節目を迎えることになります。これを記念し、舞台技術者の道を歩み始めた若手を支援する試みとして、将来の「バックステージ賞」の候補となりえる人材を表彰する制度を、今年度特別に設け、その道での長きに亘る活躍を奨励いたします</p>
表彰対象	<p>舞台芸術を裏から支え、舞台づくりに貢献し、優れた業績を挙げておられる舞台技術者＝「裏方さん」</p> <p>原則として、ご活躍中の個人を対象とし、年齢40歳未満を目安とする</p>
分野(例)	<p>「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ</p> <p>ただし、これまで「ニッセイ・バックステージ賞」で受賞者が出ていない分野（例えば、映像、特殊メイク等技術革新に伴う新しい分野）についても、若手を対象とする表彰という趣旨を踏まえて、検討を行う</p>
選考の視点(例)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 舞台芸術を支える各分野で活躍し、その将来を担う若手人材 ■ 伝統芸能分野において、必要な技術の継承に取り組んでいる若手人材
表彰者数	若干名
表彰内容	賞状、記念品および副賞
選考方法	<p>全国の舞台芸術有識者の方々からご推薦（自薦を除く）の他、一般から公募する</p> <p>※一般公募は日生劇場HPより推薦書をダウンロードのうえ、必要事項を記入して、担当まで郵送にて提出ください</p> <p>なお、推薦の際には必ず、推薦者の参加作品や師事している人物等、活動実績がわかる資料を添付ください（確認のため、参加作品の制作者、師事している人物に事務局から連絡させていただくことがあります）</p> <p>推薦者の中から、選考委員会で審査の上決定します</p>
選考委員	「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ
募集締切	2024年5月7日（火）必着 ※「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ
発表	2024年10月中旬（予定） ※「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ
贈賞式	2024年11月27日（水）(予定) ※「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ
お問合せ先	「ニッセイ・バックステージ賞」に同じ

「候補者推薦書」ご記入に際してのご留意事項

〈第30回「ニッセイ・バックステージ賞」、第30回記念特別表彰「奨励賞」共通〉

○ 「候補者」欄

- ・ 「従事している業務分野」は『表彰要綱』に記載の「分野(例)」を参考に、舞台づくりに貢献している「裏方さん」で、出来るだけ具体的な「業務分野」名称をご記入ください。
(注)プランナー、デザイナーは対象外です。
- ・ 候補者属性に関わる事項「年齢～受賞歴」は、おわりの範囲内でご記入ください。

○ 「推薦理由」欄

- ・ 候補者の優れた技能、技術、関係した公演、作品名、主な活動地域、場所等を具体的にご記入ください。
- ・ なお、「推薦理由」は適宜、他の用紙にご記入いただいても結構です。
- ・ 「参考資料」、「印刷物」等ありましたら、添付をお願いします。

○ 推薦書用紙について

- ・ それぞれ専用の推薦書を日生劇場HPに掲載いたしますので、適宜ダウンロードして活用ください。

〈第30回「ニッセイ・バックステージ賞」について〉

○ 以前に推薦いただいた方を再推薦される場合

- ・ 毎年の受賞枠が最大2名と限られておりますので、必ずしもご推薦いただいたその年に表彰されない場合もあります。
受賞者は当年度の被推薦者の中から選考されますので、お手数ですが継続して推薦書にご記入の上、ご推薦をお願いします。
- ・ 但し、以前ご推薦の際に参考資料等をご提出の場合は、推薦書にその旨をご記入いただき、添付を省略いただいても結構です。

○ 「ニッセイ・バックステージ賞」へのご意見欄

- ・ 今後の運営のさらなる充実のためご意見等をいただければ幸いです。

〈第30回記念特別表彰「奨励賞」について〉

○ 添付資料について

- ・ 専用の「候補者推薦書」を使用いただき、推薦者の参加作品、師事している人物などの活動実績がわかる資料を必ず添付してください。なお、活動実績の確認のために、参加作品の制作者・師事している人物に事務局から連絡させていただくことがあります。

[本件に関するお問合せ]

公益財団法人ニッセイ文化振興財団

担当：専務理事・事務局長 今村 康明 (イマムラ ヤスアキ)
事務局長 可畑 尚人 (カバタ ナオト)

TEL：(03) 3503-3115 FAX：(03) 3581-3493

<https://www.nissaytheatre.or.jp/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目1番1号